

郷土作家企画展

竹内ヨシエ・酒井邦子 二人展

ありがとうヨシエばあちゃん

そして 池ちゃんへ続く絵仕事の絆

令和2年7月22日(水)～9月27日(日)

■休館日:火曜日

■開館時間:午前9時～12時、13時～16時30分

(12時～13時までは、除菌・換気のため一時休館。入館は16時まで)

■入館料:大人300円 小中高生100円

主催:朝日町 朝日町教育委員会 (一財)朝日町文化・体育振興公社

共催:北日本新聞社 後援:北日本放送 富山テレビ放送 チューリップテレビ

新川コミュニティ放送 みらーれTV 読売新聞北陸支社 富山新聞社 北陸中日新聞

朝日新聞富山総局 毎日新聞富山支局



「がんだん(笹川)」 竹内ヨシエ



「ひまわり」 竹内ヨシエ



「群」 酒井邦子 2015年



「廃墟(軍艦島)」 酒井邦子 2019年

ヨシエばあちゃんこと、竹内ヨシエさんは、2011年春、当館において91歳で「ヨシエばあちゃんの絵仕事展」を開催し、好評を博しました。

60歳で、郷土作家の故長崎助之丞氏に墨絵を5年間習います。

その後、湯口敏明氏に師事、水彩・油彩・デッサンなど様々な絵画の手法を習得されました。

「100歳になったらもう一度展覧会を開こうね」という約束も虚しく2019年2月、98歳で逝去されましたが、今展開催を期に、彼女が残した未発表作品を紹介いたします。

今回展示するヨシエばあちゃんの墨絵は、道路整備や河川工事などにより、その姿を見ることが出来なくなった地元笹川の幻の風景が中心となります。

着彩画(水彩・油彩)は、毎年1枚を目標に亡くなる直前まで制作を続けた近隣の四季を中心に飾ります。

池ちゃんこと、酒井邦子さん(旧姓池田 朝日町出身 富山市在住)は、ヨシエばあちゃんの姪にあたり、当館では郷土作家として、初めての紹介となります。

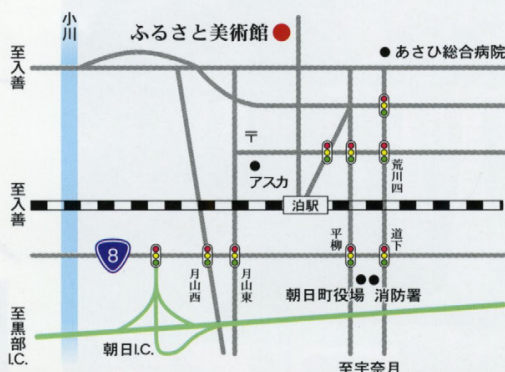
長年にわたり、日本画家 故大島秀信氏に師事、日本画の技法を基礎から習得し、現在に至ります。2010年の県展入選をきっかけに、数々の展覧会に精力的に出品、入選・入賞を重ね、実力をつけてこられました。

その努力が認められ、2019年3月に富山県民会館において、念願の個展を開催されました。

池ちゃんの作風は、一見日本画とは思えぬ力強い色彩でありながらも、細部まで妥協なく描き込まれた写実的な風景画、それとは対照的な、どこか愛嬌のある動物画。優しいタッチの中にも、描かれた動物たちの目力には強烈なパワーが秘められ、その雰囲気のもと、池ちゃんの独特な世界観に吸い込まれます。

朝日町で生まれ、親族の血という絆で互いに切磋琢磨、そして絵画を愛する竹内ヨシエ、酒井邦子の二人。作品に通じる共通点、さらにそれぞれの溢れんばかりの個性をお楽しみください。

また、特別展示といたしまして2人の師である長崎助之丞氏、湯口敏明氏、大島秀信氏の代表作を特別展示いたします。絵画で生まれた素晴らしい繋がりを、この機会にじっくりとご鑑賞ください。



朝日町立ふるさと美術館

〒939-0731 富山県下新川郡朝日町東草野466-8 TEL/FAX 0765-82-0094

<http://www.town.asahi.toyama.jp/buntai/museum.html>